

研究区分	教員特別研究推進（教育推進）
------	----------------

研 究 テーマ	災害看護教育における臨床判断力の強化を目指した教育プログラムの開発				
研究組織	代 表 者	所属・職名	看護学部・講師	氏名	根岸 まゆみ
	研究協力者	所属・職名	オレゴン健康科学大学 看護学部・名誉教授	氏名	Kathie Lasater
		所属・職名	オレゴン健康科学大学 看護学部・準教授	氏名	Ann Nielsen
		所属・職名	オレゴン健康科学大学 看護学部・講師	氏名	Ruth Tadesse
	発 表 者	所属・職名	看護学部・講師	氏名	根岸 まゆみ

講演題目
災害看護における臨床判断力の育成を目指した教育プログラムの開発
研究の目的、成果及び今後の展望
【研究の目的】 災害時の看護実践では、限られた資源と刻々と変化する状況の中で迅速かつ適切な臨床判断を行う能力が求められる。しかし、災害看護における臨床判断力は単なる知識習得では十分に涵養できず、患者の状態や周囲の状況を総合的に評価し、最適な対応を選択する思考過程や意思決定能力の育成が重要な課題となっている。本プロジェクトでは、災害看護教育における臨床判断力の強化を目的として、ケーススタディ、ディスカッション、シミュレーションを中心とした教育プログラムの開発を行った。特に、南海トラフ地震など今後想定される静岡県地震災害を想定し、地域特性を踏まえた看護事例を基盤とした机上シミュレーションを構築するとともに、多職種連携および患者の状態・ニーズの的確な把握を含めた多角的な臨床判断力の育成を目指した。 【成果】 静岡県における地震災害を想定した看護事例を用い、机上シミュレーション形式による教育プログラムを開発・実施した。本プログラムでは、学生が災害時の限られた情報の中で優先順位を判断し、看護ケアの意思決定を行うプロセスを重視したケースディスカッションを行った。また、多職種連携を想定した役割分担や情報共有の在り方についても検討を加え、災害現場における実践的判断力の育成を図った。その結果、学生は事例の分析やグループ討議を通して、患者の状態把握、資源配分、優先順位付けを含む臨床判断を多面的に考察することができた。発表内容およびディスカッションの質から、本プログラムは災害看護における臨床判断の基盤となる理論的枠組みと実践的スキルの習得に一定の効果を有することが示唆された。 【今後の展望】 本教育プログラムは、災害看護における臨床判断力の育成に有効であることが確認され、今後の授業に継続的に導入することが望まれる。今後は、より実践的なシナリオの拡充やシミュレーションの高度化を図るとともに、多職種連携の要素をさらに強化し、実災害に近い状況設定のもとでの教育効果を検証していく予定である。また、本プログラムを基盤として、学生が災害看護における臨床判断を体系的に学修できる教育モデルとして発展させ、地域特性を踏まえた看護教育の充実と災害対応力の向上に寄与することを目指す。